京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金[illegible]五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜報

北韓の經濟狀態

元山商業會議所に於て調査したる一月中の金融狀態及び商況は左の如し

▲金融狀態　一般に繁忙を見る可き季節なりしも韓人側の金融逼迫は一段の窮狀に陷り商業の委縮を來して日本人に與へし影響も又少なからず加ふるに當月は天候不良の日多くして出市の客足を遮ぎり爲めに市場は著しく閑散に經過し只輸出品の大豆、明太魚に要する買資金の需要稍多かりしも只一時に止まり金融界は寧ろ閑散に經過せり

▲大豆　輸出豆なるものは略出盡したるものゝ如く僅に海路もの四千叺の出廻りに過ぎず一方日本の形勢は滿韓大豆の入荷あるを氣遣ひ一時買控への姿にて相場の下押となりしも爾來滿洲國産は歐洲輸出の盛んなると銀相場高値の爲め割高なるとに依り賤先輸入の見込みなきより思惑買現はれ五七錢方引締り來り下旬に入り二三の注文買あり且出廻品薄らぎたる爲一錢高を唱ふるに至れり

▲牛皮　出廻り品僅少なりしと日本相場の不振とに依り閑散に終りたり

▲明太魚　平年以上の漁獲なりしに拘らず出廻り品極めて僅少にして取引捗々しからず下旬に至りては需要地の備蓄あるを唱へて上物一圓方下落となれり近來産地釜山間の直送品は運賃の關係上之に因るの止むなきに至れり之が爲め市場は少なからざる打撃を受つゝあり

▲白米　前月來尙は不況にして弗々の賣行きありしに止まりぬ

▲小麥　需要極めて少なくして市場は頗る不活潑に終れり

▲干鰮　本月に入りて出廻り品は停滯なく取引濟となり動もすれば相場上進の傾きあり出廻り高は約千五百俵にして品質惡からざるより韓人多く旁日本に於ける豆粕肥料の昂騰に伴ひ上物三十錢方上値を見るに至れり

▲木綿　韓曆の正月を控へたる需要季となるも案外不捌けにして人氣昂らず原料綿絲の高値にも拘はらず相場は持合にあり下旬に入りては例年正月後の需要減退を見越して物に依り三五錢方低落を告ぐるに至れり

▲石油　可なり賣行ありたるも英米兩國の競爭今尙止まず中旬以來米油は三圓十二錢に英油は二圓七十錢に低落

英國現下の金融

倫敦市場にれいて去月中各國の公債及び市債等の募集あり且歐洲諸國の財界に活況を呈するに至りしより尠からざる正貨の流出あるため頃來漸次引締りの傾向を呈し曩に英蘭銀行の利上げを見たるが二十五日の入電によれば日貸し及び週貸しとも四分の一方引締りて前者は三步四分の一後者は三步二分の一となれりこれ全く四月五日を以て英國大藏證券二千百萬磅の拂込を氣構へたるがためなり尙ほ英蘭銀行の募債に對する準備の割合は前週四十九パーセント十六分の三より今週は四十七パーセント十六分の七となり一パーセント十六分の三方減少し居るを以て見るも倫敦金融の引締り居れるは明かなりされど四月は例年金融の閑散に赴くを常とせるを以て四月五日の證券拂込期經過と共に再び緩漫に復すべき模樣なりといふ

暴徒討伐彙報

三月十六日より同二十一日に至る一週間內に於ける暴徒討伐の狀況左の如し

一、慶尙北道丹陽、清風兩憲兵分遣所下士一、上等兵二、補助員六及堤川守備隊兵卒二、堤川守備隊兵卒九、丹陽巡査駐在所及堤川警察署巡査四の聯合隊は三月六日順興郡內に於て賊二十一と衝突其一を殪し一を傷く

二、忠清北道堤川分遣隊兵卒二及憲兵警察並に榮川守備隊の聯合討伐隊は三月六日順興郡內に於て賊徒約二十五と衝突其一を殪し三を傷く

三、黄海道新院憲兵分遣所上等兵一、補助員三、及警察官三は三月七日海州郡內に於て賊九と衝突其六を殪す

木浦棉花集散（一）

（關稅局の調査）

△棉花產出の時期　九月二十日頃を以て出廻りの初期とし翌年四月頃を以て終り最も盛んなる時期は十一月及十二月の兩月なりとす

△棉花の產出地　全南光州地方に產出するものを最良とし珍島、莞島及智島の諸島に產出せるものは良好ならざるも是等諸島に於ける棉作は遠く高麗朝の時代より政府に於て奬勵し來りし由なれば其產額も亦尠なからず殊に本年は濟州島に於て初めて試作し千斤を木浦に送り其の價格百斤に付八圓十七錢なりし由なれば以て其良性たることを知るに足るべしと

△棉花栽培所の計畫　臨時棉花栽培所は米綿のみの植付を奬勵する目的を以て設立されたるものにて明治三十九年度に四十五町步同四十年度に六十五町步四十一年度に貳百町步四十二年度に四百三十町步を植付け本年度には九百町步に及ぶの計畫にて即ち每年二倍半の增加を以て進行する豫定なりと云ふ（完）

地方通信

平壤通信

▲平壤炭德山輸送　本月十日の解氷後第一回德山行無烟炭の輸送を開始せる平壤鑛業所に於ける運炭の模樣を聞くに鑛區現場より兼二浦まで一日三往復運轉の臨時列車を以て去る十九日までに切込炭四千五百十二噸の搬出を終り目下施行中なる兼二浦驛構內にれける運炭用の引込線路增設工事が本月中に竣成するを待つて更に四月一日頃より一日約四百噸づゝの輸送を爲す筈なるが兼二浦にれいては昨年結氷期よりの殘炭二千噸と今回輸送せる以上の分を合せ總計六千五百十二噸を汽船雲海丸及び巴丸の二隻に積載し本月末日までに德山に送り付くべき筈にて本年度契約に對する輸送高は昨年度契約に對する輸送未濟の分四千七百噸を差引きたる約千八百十二噸となる次第なり因に二十日兼二浦に入港せる運海丸は二十三日已に積み込みを終り同港を出帆し巴丸は之れと入替りに同じく二十三日入港し同二十六日頃出帆せし筈なるが右滊船は鎭南浦及び下關に寄港し三晝夜を以て德山に到着すべしと

▲穀物市場の昨今　昨今の平壤穀物市場は粟六圓六十錢、中米八圓九十錢當り、白米上九圓三十錢當りにて何れも好況を呈し相當の出廻りあるも他は何れも品薄く取引殆んどなし大豆は六圓二十錢にして玆一週間もせば大同江上流より出廻りあるべきも今年は一萬二三千叺位の出廻りあるに過ぎざるべし尙は雜穀相場は小豆六圓五十錢、粉麥五圓三十錢、裸麥四圓五十錢、大麥二圓五十錢黍四圓二十錢にして綠豆は七圓五十錢見當なり（廿五日發）

◎新刊紹介

▲木太刀（三月號）　小波、竹冷の二宗匠が後見で秦葉、朧月氏等が編輯して居る俳諧專門の雜誌である三月號は小波宗匠が伯林に居た頃同趣味の人々が集つて伯林の伯を取り白人會といふのを組織し盛んに俳くつたが其の十週年に相當するといふので其紀念號として出たのだ、表紙繪も紙も中々良い美しい收むる處の句は勿論小波宗匠竹冷宗匠を戴けるので什麼ものかは判る筈（牛込區築地町木太刀社二十錢）

▲貿易（第十一卷第三號三月十五日）　卷頭に內田定槌氏（ブラジル駐在公使）のブラジル紹介の演說夫れから別に二三の論文合衆國との通商に關する演說も載てある以上は論說の部で貿易の部には東亞、西歐、南北米國と分けて貿易の現狀其他當業者の參考になることを細かに記してある事例の通りである（京橋區宗十郎町日本貿易協會發行十錢）

▲日韓實業界（第三卷第三號三月五日）　日韓第一の實業雜誌と自ら銘打つて居る元氣の好い雜誌である、金話が冒頭を占めて森通倫君の貯金話で長森藤吉郎の韓國經營意見、東拓總裁宇佐川男の談話なども載せてある（京橋區木挽町日韓實業界社發行十五錢）

▲神風（第九十六號三月十五日）　一名女性の光と呼ぶ伊勢の神風で無うて大方出雲の神風だらう（小石川神風社發行五錢）

▲富之朝鮮（第五年第三號二月三十一日）　極彙實な書き振り內容甚だ饒かならざるも從來主筆が大將も兵卒も主人役も妻君役も一人で遣り來たとあるを見て夫れでは致方が無いと思ふた（大和町三丁目富の朝鮮社發行）

日本銘刀傳

第七十八席　法城寺正弘（一）　邑井一講演

江戸の京橋といへば、昔から大繁華な町で、俗にいふ土一升、金一升の場所であるが、其の京橋五郎兵衞町に、小間物屋をしてゐた上總屋長右衞門といふ人があつて、至つて質朴の男で、木は木、竹は竹といふ世辭の大嫌ひの性質であるけれど、賣込んだ暖簾といふものは有難いもので、流行物の縞柄でもあると、いつも上總屋の店は繁昌いたします、此れといふのも女房さんが世辭の好いためでありますが、所が此の女房さんといふのは、上總の茂原といふ所から緣付いて來たので田舍者だけれど、江戸つ兒も素足だ、殊に名主樣の娘だといふのだから猶更大きな顏でもしさうなものと思ふと、大きな違ひです、郷に入つては郷に隨へといふ理屈ぐらゐは知つて居ると見えて、店へ出ると世辭を振蒔いて居る、所が又此の上總屋の店に鐵三郎といつて至つて美男の手代が居る、角を入れた前髪姿だが、何うも繪にもかゝれない程の美男だ、昔の事だから寺の坊さんや大名旗本衆から、れ御の小姓にくれろといつて來るものも隨分あるのだが、當人は商人が好きだといふので、そんな綺麗な世を望まないのです、此の奇麗な手代が居るのも又客をよぶやうなことになりますので、又此外には力枡に岩松といふ小僧が二人、旦那の生れ故郷の上總から來た下女のれとめといふのが、また男の味を知らないといふ堅物といふと、大層体裁が宜いやうだが、其實をいへば堅いので男を嫌ふのではなく、餘り顏が醜過ぎるので男の方で傭はぬといふ始末なのです、夫故當人も諦めて此の家へ一生奉公でもしやうといふ律義一方先づ雇人といふのは此の四人だけで、奥は主人の平右衞門に母さんがまだ居るので、先代の平右衞門が死んでから、やがてモウ十年にもなるのです、六十を四つばかり越して居る葬式適齡といつて可なるべきだけれども、夫れが非常に壯健で、眼鏡もかけずに針の目を通して糸の先は舐れんので耳も別段遠くもなく、齒は堅餅を生燒で食べるといふ嚴疊造り、嫁のれとくと長右衞門の間に、出來て居るのが十二になる長太郎といふ男の子と、七つになるれよねといふ娘だ、此の二人の面倒を兩親は見てやり、兄は毎日手習師匠へ通ひ、妹は踊の師匠のうちへ往くので、た婆さんは、孫の辨當の菜や雨が降れば、傘でも出してやるくらゐの世話をさへしてゐれば、一日の役目は立つといふのだから、先づ中等社會とでも今日の言葉でいふべき氣樂なしの樂しい親孝行で、嫁のれとくが柔和だと來て居るのだから、れ母さんは喜んで居ましたが、然し有爲轉變の世の中は仕方のないものであります、昔の諺にも天の爲せる災は猶は避くべし、自ら爲せる災ひは避くべからずといつてあるが、何も天が災ひを製造して販賣する次第でもなければ自然と出來てくるのと、人爲で災を招くのとは、其の害たるや相違があるのでございます、自分で招く災程恐ろしいものはない、長右衞門が四十二といふ俗に厄年といふ歲の正月の七日晩でしたが、得意先から戻つて我家の閾を如何したはづみか、パツタリ倒れたのです、手代の鐵三郎に小僧二人店にゐましたから、驚いて抱き起して見ると何だか正氣を失つて居るのです、身体が綿のやうにグタ〳〵して了つたのであります

鐵「れかみさん大變です、旦那樣が目を廻はしました、早く來て下さい、早く……」と大きな聲をして呼立てました、女房のれとくは亭主の歸りと聽いて、出向ふつもりで帯を〆直して居ると、鐵三郎の金切聲ですから、驚いて飛んで來て見ると此の有樣

徳「旦那樣々々」と淚聲で呼立てる、老母も出て來る、悴や娘も出て來る、泣くやら呼ぶやら大騒ぎになりましたので、近所合壁へも聞えましたから、向ふ三軒の交際は仕方がありません、皆出て來まして

甲「何うしましたね

乙「旦那樣何うかなさいましたか

丙「れや身体が冷い

丁「夫れおやア冷ねたのだ

戊「夫れでは火燵を直してもうチッと熱い所で衣聞きといふことにして……」



東京電報

▲小松原文相親任式 本日宮中に於て親任式を行はせられ小松原文部大臣に農商務大臣兼任を命ぜられたり(廿八日)

▲久邇宮の御披露 久邇宮邦芳王同妃兩殿下には本日麴町一番町の御本邸に於て御歸京御披露の宴を催させられ山縣元帥、長谷川、乃木、奧、大島、東鄕の陸海軍大將阿部東京府知事其他在京の將官數十名を御招待あらせられたり(同上)

▲中學新設と勅令 本日の官報を以て統監府中學校新設に關する勅令發布されたり(同上)

▲万國議員會議 公報發表を以て万國議員會議を來る九月ブラッセル府に開會する旨發表せらる

▲殖民會議の開設 滿韓方面に於ける殖民政策に關し政府及び社會に對し最高意志を明示するが爲め殖民會議創刱の企圖在野有力の政客によつて唱導せられ政府にも同樣の計畫ありて兩者一致して右の如き機關を設置するに至るべく名稱は殖民會議と稱し會長には閣員中の有力者を戴き任務は文部省に於ける高等教育會議の如く殖民又は移民行政に關し政府の諮問に答へ一方又自ら調査研究して意見を決定し國民の嚮ふ處を指示するとなるべく之が發表期は五月中遲くも六月初旬なるべし(同上)

▲公債借替の景況 第二國四步利附公債借替に際しては其手續を簡便にすると同時に各地一般に之を周知せしめ申込期間を延長し其間に下請仲買人は他地方に向つて廣く其手續を廣告し勸誘を試むべきを以て應募額は約三倍即ち三億圓に上るならんと豫側せらる(廿九日)

▲載濤殿下の參內 濤貝勒殿下は本日參內 天皇陛下に謁見後豐明殿に於て午餐の饗あり(同上)

▲日韓瓦斯株の騰貴 日韓瓦斯電氣會社の株は漸次騰貴し東京株式取引所に於て五十四圓臺を唱へ居れり(同上)

▲米國の密漁取締 米國政府はアラスカ方面の膃肭獸密獵船防止の爲監視船二隻を增派せり(同上)

▲稅制整理會議開催 議會の協贊を經て公布せられたる稅制整理に關する諸法律及地租八厘減に關し大藏省主稅局にては來月四日各稅務監督局長會議を開く事に決せり(同上)

▲韓國衛生顧問囑托 衆議院議員山根正次氏は韓國衛生顧問に囑托せらるゝ交渉を受け之に承諾せり

▲金平日糖重役死去 大日本精糖株式會社專務取締役金平豐太郞氏は臺灣より歸航中死去せり(同上)

北京電報

▲吉林巡撫の建議 吉林巡撫は軍機處を止め各部尙書になれる新内閣を組織して總理を置き聯帶責任とすべしと建議せり(廿九日)

雜報

政友會の結黨式

高義駿閔元植氏等は愈々政友會と稱する新政黨を組織する事に決定し二十九日午後二時より中部典[illegible]の農商協會事務所に於て盛んなる結黨式を擧げ尙ほ正副總裁以下役員の選擧を行ひ總裁には閔泳徽副總裁には李載克を推薦したる筈なり尙ほ同會員は國是遊說團國民演說會員多數人を占め居る由

▲政友會の綱領 別記政友會創立趣旨書並に綱領は左の如し

今や國家內外の形勢は吾人をして一大政黨の樹立を催さしむ茲に結黨の趣旨を擧げ國內同憂志士に宣す盖時代の變遷と國運の盛衰に對しては四圍の事情を鑑み自國の現狀を察し能く其の利害得失を深量し國民の所向を指示するは實に有志者の自任すべき處なり然り而して現時我が國情の不均と民心の潰裂より政綱日に弛し民業日に墜つ政府の綏救尙此に渉濱とし生靈の塗炭は去て益々頻成せり此の如くして因循せば哀むべき我民族は殄滅して乃ち已まん是れ豈憂國志士の熱血を嘔くべき所にあらずや所以に吾儕猛然蹶起して國論を確立し國交を親善にし時局の平和を維持し風敎を矯正し社會の積弊を掃蕩し敎育と實業を振興し人民の生活を饒足ならしめ以て目下頻死の民族を濟救せんとす是れ實に一片の至誠に出づ今此に政友會を組織し左開の綱領を唱道す願はくは我が同志齋聲替應せよ

一、皇室尊榮　二、政治務實
三、敎育振興　四、實業發達
五、社會改良　六、貧荒救備
七、日韓親善

▲政友會の會則 同會々則は如左

第一條　本會は政友會と稱し本部は京城に置き支部は各道郡に置く
第二條　本會は會務を處理する爲め左の役員を置く
一、總裁一人　二、副總裁一人
三、評議員若干　四、幹事七八人
第三條　本會の經費は會員の負擔とす
第四條　本會を願ふ者は會員の保薦を要す
第五條　會員にして不正當なる行爲あるものは之れを除名す
第六條　本會規則及處務細則は別に之れを定む

滿洲防穀令の實施

淸國にては從來穀類(但し豆類を除く)の輸出に就ては滿洲港の際より之れを禁止し外國產と雖一旦輸入せられたるものは再輸出を許さゞりしが其後時勢の變遷と內外の事情に鑑み必要ある場合は一定の豫告期間を與へて再び之を禁止すべしとの條件を以て滿洲に限り穀類の內小麥を千九百八年九月四日高粱及玉蜀黍は千九百八年十月十三日粟を千九百九年三月二十七日蕎麥を千九百九年四月二十一日附を以て輸出を許可することゝなりたり然るに今回東三省總督は管內の農收豐饒ならず生民糧食の爲めに困難すべしとのことを口實として客月二十七日(淸暦宣統二年正月十八日)附を以て防穀令を發布せり其內容は小麥、高粱玉蜀黍、粟、蕎麥等の雜穀の輸出を禁止せるものとして要するに嘗て輸出を許可せる前記の穀類に對し再び之れを禁止せるものにて防穀令の施行區域は滿洲一圓なるが其實施期は鳳凰廳管下(安東縣も含む)は發令後一箇月にして之を開始することゝせり而して前記穀類は主として北滿の產品にして西韓對岸一帶は其の產出少なきを以て韓國貿易には左程重要影響を受くることなしと

紳商會社の解散

既報の如く農商工部は全國に於ける利權屋撲滅を期すべく調査中なりしが彼の仁川紳商會社は其弊害最も甚だしきものにして現に客主と開業するものあれば手數料として百五十圓を貪ぼり更に各營業者より紛擾の仲裁或は種々なる名目の下に不當の金錢を收得するの事實ありて多年の慣行上自他共に異とせざるの風あるが如き啻に斯業者の自由を妨げ延いて一般商業の發展を阻害するの弊あるを認め此頃斷然解散を命ぜられたり而して彼等も時勢の要求已むを得ざるものと覺知し不穩に之に服從せるが尙ほ他にも斯かる利權屋存在するを以て續々處分すべしと

韓國關係の諸法令(廿八日統監府着電)

二十八日官報號外二十六日附にて各官廳官制又は定員令及び官等俸給令の改正と共に統監府關係の左記法律を公布せられたり

一、通信官署營林廠特許局官制改正
二、統監府中學校官制
三、高等官々等俸給令及判任官俸給令
四、臺灣滿韓及樺太在勤文武官加俸令
五、統監府及所屬官署職員特別給與令
六、統監府判檢事官等給與令改正
七、韓國人判檢事官等の件
八、統監府郵便所長給與の件
九、統監府特別任用判檢事交互任用件
十、統監府中學校長任用の件

●宮內府建物の賣却 今回景福宮及び昌德宮其他宮內府所屬不用建物を賣却する事は新聞廣告に在る通りなるが今賣却方法等に就て當局者の談を聞くに元來同府には多數の建物ありて中に保存すべきものと否らざるものありて今日迄は之を修繕せんとするも多額の費用を要するを以て自然荒廢に委するの外なかりしを以て今回英斷を以て不用建物を賣却し保存すべきものは大修繕を加へ外賓の觀覽する所もあるも之に不快の念を起さしめざる樣になすの計畫の由にて賣却の方法に在りては或は全部を買受けんとするものもあるべく或は其一部分を希望するものもあるべきにより四月十日迄一般希望者に實地を熟覽せしめて全部或は一部分と各樣の賣却申込書を提出せしめし上申込者の拂下方法に對する希望を陳述せしめ之等を充分參酌したる後適當の方法により賣却し契約書を取交す筈なるが希望者は同府主殿院に就き圖面により詳細に說明を聞きたる後各實地に就き全部又一部分の希望する建物の圖面を調製し申込書と共に同院に提出すべく同院は之により賣却方法を講ずるものなれば此際には價格を記するに及ばざるなり而して愈賣却契約成立したる上は直もに之に對する金額を前納せしめ且つ整理上一定の期間內に取除くべく或は代金を前納したる上右に對する保證金を徵するやも計られずとなり因に宮內府に於て寫すも差支なしと云ふ

●地方委員會と徵稅 義州財務署に於ては去る三月十九日義州朔州昌城宜川鐵山龍川等の各府郡地方委員を招集し稅務に關する諮問の打合をなせり義州警察署長も之に臨席して市場稅徵收に關する警察官援助の趣旨を諭示し尙ほ徵稅の圓滿を圖る爲め各地方委員は出席人民をして地方費の性質を了解せしめ誤解なき樣努むるは刻下の急務なる旨を說明し該委員會は當日を以て終了を告げたりと云ふ

●追擊隊其後の情報 賊徒搜索隊は飽く迄其根底を屠るべく益々追擊續行中なるが去る二十六日安東分遣隊は慶北安東郡五美洞にて賊廿名と衝突し更に又龍宮郡セイシ洞に於て數十名の一團に出會し突擊孰れも潰走せしめ捕虜一及多數の鹵獲品あり

●徵稅手續改正實行 京城民團にては來る四月一日より從來の吏員出張徵稅手續を廢止して直接民團會計役へ納入せしむる事に改定したれば納入は注意すべし而して若し指定期限の納入を怠る向に對しては假借なく國稅滯納處分法を執行すべしと

●鴨綠江の渡江安全 去る二十六日新義州へ向け龍岩浦より支那ヂャンク八、二十七日大連より同三百二及び十九噸の汽船來航し石油發動の渡船は二十六日の滿潮に浮游したり鴨綠江下流には氷塊を認めさるに至り同江航海は頗る安全となれりと

●地方費出納と農銀 漢城府及觀察道所在地に於ける農工銀行の本支店にては今度地方費に屬する現金の取扱を行ふことゝなりたる由なるが該金に對しては預金利子を附するに及ばずとの事にして一年後に至らば利子を附することゝなるべしといふ

●燈臺巡視船の廻航 龍岩浦燈臺出張所附屬綠川丸及鴨川丸は結氷の爲め仁川に廻航中の處解氷したるを以て數日前龍岩浦に歸航したりと

●農商工部次官代理 農商工部に於ては木內次官東上せられたるに就き不在中は商工局長菊池武一氏職務の代理を命ぜられたりと云ふ

●趙農相の長官訪問 趙農相は二十八日午前石塚長官を訪問して長時間に涉り會談する處あり尙趙は歸路榊原憲兵隊長を訪問したりと

●韓銀出張所の開期 目下開設準備中の韓國銀行釜山出張所は來月十八日より營業を開始すべしと

●參與官會議例會 二十九日午前十一時三十分統監府に於て參與官會議例會あり石塚總務長官を始め小宮、荒井、松井、國分の各參與官、岡本通信管理局長代理及中山書記官等列席せり

●女官の轉宅準備 別項不用建物賣却に伴ひ之迄景福宮にありし女官百數十名は德壽宮及安洞別宮に移轉する筈にて廿九日より安洞別宮修繕に取掛る

●熊谷氏の送別會 近々島根縣某郡長に赴任する前民長熊谷賴太郞氏の爲に當地大分縣人は四月二日花月樓に送別會を開き併せて縣人懇親會を催す由

●度支部の運動會 來る四月九日高度相の首裁にて度支部の職員一同慶熙宮內に於て運動會を催すべしと云ふ

●仁川の在鄕軍人 仁川に於ける最近調査在鄕軍人數を聞くに下士以下百四十三名同將校八名合計百五十一名也

韓南の輕便鐵道

忠淸北道黃澗郡黃澗黑鉛商會の施設に係る輕便鐵道工事第二區黃澗郡西面より慶尙北道尙州郡得水洞に至る十一哩の工事は去る十五日より工を起し目下日人三十名、韓人約五百名の人夫を使役して工を急ぎつゝありと尙第一區黃澗驛より同郡西面に至る三哩間は本月末に竣工すべしと云ふ

二日目の京城民會

第一日の京城民會は委員付託となり茲に其報告を得て二十八日午後七時より二日目を開會せり出席數は和田議長以下中島、曾我、城、石井、大村、林田、前田、梶原、關、田中、皆川の十二議員にして傍聽席を一瞥すれば當會には委員會の修正に係る藝妓稅增額案提出され之が爲めに最も打擊を被るべき中檢所屬各料理店主十數名が恭しく控へ居れり一同着席するや議長開會を宣し中村委員長旅行欠席の爲め曾我委員代つて委員會の經過を說明し若し質問あらば便宜上分割して之に答へんと述べ一號以下順次一讀會を進行して三號案に入るや關議員先づ起ち藝妓稅增額の理由を質問す皆川議員例の峻酷口調を以て大小均一の租稅の原則に戾り不條理極まる制度と認むるを以て之を正だせるのみと答へ次で議長は各料理店主より嘆願書の提出ありとて書記をして朗讀せしむ此時皆川議員より議場に於て嘆願書を直ちに受理するの例ありやと叫び二三年前是ありとの答へに受理するとも議せざるとも無く有耶無耶に葬り去られ四號乃至八號及十號を異議なく進行して直ちに二讀會を開き三號案則ち藝妓增稅に付き大論戰は關氏の口を藉りて開始されぬ曰く現在京城の不景氣は言ふに絕す此際藝妓稅の激增は實に慘酷の極みなる故に本員は寧ろ大に之が低減を望むさ述べ曾我議員亦之を贊し頻りに日本各地の例を引いて通がり或は龜屋、辻屋を引合に出して是等堂々たる商店と纖弱き婦女子と同額ならしむるが如きは無情の處置なりと說き同情罪めたる贊成說を振廻はして傍聽席の歡心を買ひ十段以上の男を上げたり之に對する中島、皆川氏の辯駁骨を刺すが如く中島氏曰く曾我氏は日本各地との比較を試むるも現に之を物價に見るも又之を個人收入に見るも多大の懸隔あり之を思へば決して些の情實を酌むの餘地なし又皆川議員曰く醜業婦に對し龜屋、辻屋を引例するは不倫も甚だし且つ曾我氏と雖も既に處により協合により階級あるを認むる以上今此京城に於て之を等級別し以て其額に高低あらしむる何の不可かあらんと述べ論旨飽く迄も痛快を極む之を聽ける關氏赫として虎狼の猛けるが如く怒號せしが討論終結の動議ありて修正案の可否を起立に問ひしに左の如し

可　皆川、中島、林田、田中、大村、
否　關、曾我、城、石井、前田、梶原、

則ち一票の差にて修正案は破れ千九百三十二圓の增負擔となり躍起となれる傍聽席の各料理店主は叩頭百萬遍を繰返して退場せり暫時休憩再び開會中學校廢止の追加案を付議し異議なく之に決し本會の花問題たる豫算に入る議長議事進行の便宜を計し各款項每に之を討議せんと述べ曾我氏委員として簡單なる說明を爲し中島議員民團吏員任用令の制定あるやに聞く目下如何なる程度に在りやと問ひ民長之に答へ只今制度取調中なれば近々發表し得べしと述べ夫より各款項順次採決して第五款一項敎育費運動會費に就き皆川議員質問を發して曰く從來學校運動會に對し有志より多額の金品を寄附ありたるも曾て之が精算を發表せられたる事なし之に關する民長の處置如何と問ひ民長之に答へ不幸にして民役所に何等記錄なく且つ之を調査すべき材料存せざるを以て種々調査を重ねたるに該件取扱の主腦者は目下監獄中の某元一課長なる事判明せるを以て折角監獄に面會を求めつゝあり然れば多少の端緒を發見せんと言ひ引續き種々質問應答ありたるが無事進行し十二款第一項神社費削除も動議採否を起立に問ひしも一人の贊成者を得ずして不成立となり十三款豫備費は豫算全體の關係上跡廻はしとして經常部全部の二讀會を終はり午後十一時散會せり

●敎育衛生總會摸樣 一昨二十八日午後四時より仁川民役所樓上に於て仁川私立敎育衛生會總會を開き熟議の結果同會の存立は不必要と認むるを以て一先づ解散するに決し校舍並びに器具物品は悉く民團立乙種商業學校用として民團に寄附し尙ほ同會基本金の一部は附屬夜學校敎員に慰勞金として分配し其殘金は仁川醫會及び民團に寄附する事に確定せりと云ふ

●瓦斯引込料の低減 日韓瓦斯電氣會社は嚮に瓦斯臭氣の放發甚しき批難に顧み使用炭に一大改良を施したる結果近來毫も其廢なきに至れるより需要者は次第に增加し殊に夏季に入れば更に一層の申込者あるべきを豫想し此際引込み裝置料を始め器具品費等の値下を行ひ四月上旬より實行する事とし需要者の便宜を計るべしと

●市原韓銀總裁消息 東上中の市原韓銀總裁は二十六日東京を出發し坂神下關を視察して歸任すと

●三宅理學博士入京 理學博士三宅驥一氏は去る二十八日入京し南山町天眞樓に投宿したり

●露國通譯官歸國 京城露國總領事館通譯官センコ、ブラニー氏は賜暇歸國の爲め三月二十九日夜南大門驛出發釜山、浦潮を經て歸國の筈なるが京城に歸還するは本年九月頃なりて云ふ

●國木通譯生歸任 兇漢安重根事件發生以來旅順法院へ出張中なりし國木通譯生は來三十一日同地出發歸任の筈

●藤原書記官歸任 北海道拓殖銀行の業務視察の爲め歸國中なりし藤原度支部書記官は廿九日夜歸任せし筈なり

●加藤參事の入京 加藤鐵道院參事は二十八日午後八時十分釜山より入京

●能勢理事官入京 大邱理事官能勢辰五郞氏は二十八日夜入京天眞樓投宿

●平渡書記官歸期 東上中の平渡內部書記官は四月廿三日頃東京出發の筈

●大庭貫一氏歸鎭 平壤民長大庭貫一は入京中の處二十八日出發歸鎭せり

●吉田事務官歸任 入京中の同財務監督局事務官は廿八日出發元山へ歸任

●山口豐正氏歸任 入京中の晉州財務官の同氏は二十八日出發歸任したり

龍山通信(廿九日支局發)

▲明石參謀長は豫定の如く昨二十九日平壤に到着せし旨軍司令部に電報ありたり▲陸軍にては今月末行政整理に伴なふ人員の淘汰あるべく軍司令部に於ては軍醫部、陸軍倉庫、衛戍監獄等多少の減員を見るべく隨て移動の沙汰あるべしといふ▲公務を帶びて上京中なりし岡鐵道院參事は二十九日夜歸任せし筈▲鐵道管理局囑託大橋太郞氏は前日新義州に出張二十八日夜歸任せり▲スタンダード石油會社橫濱支店長コウル及同本社重役マイヤーの兩氏は二十八日午前十一時三十九分三浪津發列車にて入京せり▲二十九日開會の豫定なりし龍山居留民會は都合に依り延期せしが同夜前議會よりの懸案たる遊廓地擴張に關する調査委員會を開催せし筈▲二十九日午前釜山發急行列車にて鎭浦驛より勞働者二十一名新義州に向ふ

▲治外法權▼

何んの必要があつてか政友會と云ふ、名義だけは如何にも立派そうな政派が出來た、其主義は親日を標榜して居る、而かも其發頭人は彼の國是遊說團の高義駿、鄭應卨等と來ては恐れ入る▲韓人の政治熱樂は甚だしい者だが曩には頑强に排日を唱へた連中が近來は頻りに日韓合邦贊成とか云ふ建白書樣の者を統監府抔へ差出すので其筋でも五月蠅くて堪らぬそうだ、斯くして彼等は他日論功行賞に與からん積りとは甚だ以て笑止千萬である▲京城民團立中學校にては一年生百二十幾名の中で五十幾名即ち約二分一弱の落第生があつたさうな、日本全國でもコンナに澤山な落第生を出した學校は恐らくあるまい、亂暴も又甚しと云ふべしだ、一割や二割は兎も角も半數に近き落第生を出す抔とは生徒の不成績でなくて敎師其人の不成績である全く不適當な學科を敎授して居る者と見へる▲山本刑事殺しの嫌疑で久しく閉ぢ籠められて居た當時の被告人等は今度右事件を演劇に仕組んで自ら登場して演ずると云ふ事だ、無罪放免となつて見れば無垢の良民には違ひないが、彼等が拘禁中の有りの儘を演ずるとせば、警察の威信に關はる事もあるであらふ、然るに之れに行演を許した當局も又中々雅量がある。



惨酷なる二葉亭(五)

樓主夫妻の強請……頑として動かぬ時……蹉逵に貞操を破らる

去月第二回目に二葉亭樓主の弘津が歸國した際に例の奸言を以て神戸から誘ひ歸つたのは即ち昨紙記載の彼等が金儲けの犠牲となるべき東京生れのれ時と云ふ無垢の處女であつた、れ時の實家は相當の身分ある家であるに隨つてれ時も普通女子に必要の教育丈けは受けて居るので始めは容易に弘津の言葉には隨はなかつたが遂々自分の宅の養女にするからと云ふ弘津の言葉にウカと乘せられて憐れ淺墓の女の考へから渡韓するに至つたのである、時は丁度先月の十三日夜の事今夜は樓主弘津が内地から歸ると云ふので一家中の酌婦共は其夜を晴れと着飾つて同勢十余人打揃ふて南大門驛へと出迎へに繰り出た、軈て弘津に連れられて下車したれ時の眸には彼等十餘人の酌婦の面々の容姿粉態が如何なる感想で映じたであらうか此の時既に彼の女の清淨なる心の一部は彼等酌婦等の醜魔の風に浸されてゐたので間もなく一行は二葉亭に歸つた見る者聞く者れ時の身には異様な感をのみ與へるのである、十時、十二時に及んでは見るも嫌らしい醜体が何處の室にも行はれる、茲に至つて始めてれ時は何物かを悟つたが最早遲ひ彼れ時は既に〱弘津が藥籠中の者であつた、斯くて二日三日は何事もなく過ぎた五日目頃から徐々樓主は胸に隠した鋒先を現はし始めれ時に向つてれ客を取れと迫つて止まぬのである、而しれ時は斷として之を拒絶し怎うしても應じなかつた、「私はれ客を取りに朝鮮へ迄も來ませぬ、私は此の樓の養女です」と頑として云ひ張つたのである、が併し此の強固なれ時の意志も幾日間續いたであらうか、樓主夫妻は斯る手段には海山千年の經驗を持つて居るではないか對手はまだ世の波風も知らぬ處女である是か結果は茲に改めて云ふ迄もない、遂に、遂に、憐れなるれ時は去月二十二日の夜を以て女の命とも云ふべき操を汚されたのである

靴泥棒は暴徒

▽捕らはれて舊惡露顯

東部午橋一統住元下士あがりの豆腐行商人金奎明(三〇)と云ふは去る十九日南山町二丁目長谷川豊松宅に於て古靴一足を窃取し同日南署の手に逮捕され取調の結果は四十一年六月中知人東中午橋北朴永池所有の懐中時計一個を窃取せし事警察の探知する處となりし爲め楊州郡へ逃走當時同郡を本陣として抱川、利川等を暴し廻り居たりし賊魁の延起浩配下となり數月間に掠奪せる金品彼れのみの分配高にても金三百圓米十石に及びたりと云ふ程の威脅を試みたる者なるが其後楊州郡廣岩面自里木なる實父の宅に潜伏昨年以降京城に入り込み人夫稼ぎ又は豆腐賣子を爲しゐたる内前記靴泥棒の爲め取押へられしより始めて舊惡露顯に及びたるなりと

禪坊主の亂行

▽取替へ引替への女狂ひ

斯かる時も時なり龍山住の森山と呼ぶ請負師の宅に同居中の飯尾某と云ふ元砲兵軍曹上りの男都合あつて自分の妻信子と云ふを他に預くべき事となりしより同郷の誼を以て是を日韓禪寺の大隆大定に頼み込み遂に大隆は此の女をも預りしが何處迄も淫亂止まる處を知らざる同人は間もなく此の女とも情交を結ぶに至りしより茲に端なくゆう子對信子對下婢の三人鼎立の嫉妬喧嘩毎日絶ゆ間なきに至り流石の坊主も閉口し下婢のみは直様放逐となしたるも殘る二人の嫉氣の角は到底納まるべくも非ざるより是れではならぬと思案の末信子の体を暇町邊のとある借家に住まはせて月々自分より仕送りなし一時は火の手を納めたりしが此の事何日しか龍山なる信子の亭主飯尾の耳に入り一再ならぬ騒動をれツ初めし其の果ては飯尾の方では義憤けとなり自分の鼻アを取られし替りに江戸の仇を長崎と云ふ筋か知らねど同居中の森山の妻青山何子と云ふを引張りて何處共なく逐電なしければ其の跡では大騒ぎもない騒ぎとなり遂々警察沙汰と迄なりて當時の新聞に迄其の名を曝されし事さへありしが兎に角當時の閔宿は明治町淨土宗の住僧某仲裁となつて落着となり其の結果は大隆のあられもなき亂行に擅徒の者も憤り擅徒中のれ顯なる秋吉某の忠告等ありて自今謹愼仕るべし自宅に預り中のゆう子は他家へ移すべしとて一段落となりたるも性來淫奔なる大隆の素行は久しからずして再び亂れ始めぬ(完)

女振り



大藪さま女

日韓戰役の前後に駐韓公使館附通譯として甲斐軍治と云ふ非凡な辣腕家があつた東學黨中での旗頭金玉均等と相交はり遂には大奥の立者大院君迄をも手中に丸め込んだ所謂秘密結社の頭繋株で當時韓國側に立入つて腕を鳴らした男であるが此の人の妻女が即ちまさ子未亡人で當年五十四才今尚矍鑠として壯者を凌ぐ容貌魁偉の一見普通婦人とは類を異にした後家さんである、一時は倭城臺下で寫眞屋を始めて居た事もあるが間もなく廢業、軍治氏の死後は今の南山町二丁目に閑居して安い月賦で金ども貸してムる相な、別に邊幅を飾るでもなく木綿着の草履穿きと云ふ素朴な姿、下女と云ふのがありながら人手の料理は汚ないからとて我が身の食事は自身での庖丁振りから見れば至極潔癖な人らしい、感心な事は金の貸し振りで借りた者が轉ればは轉けるほど資本を注ぎ込んで乾度昇の出る迄仕上げる事だ兎に角女としては其の遣り方が膽のある齒切れの可い方である、子息さんには若いれ嫁さんがある、井門榮さんの縁續きの娘であつたとか、樂と云へば此の二人を對手にたはいもない世間話し位で道樂は夜の明ける迄高々の勝敗が五十錢處の八々。寫眞屋時代の番頭殿は今の村上天眞で天眞の弟の嫁御寮が即ちまさ女の長女である、生れ古鄕は楠公さんで名の著い兵庫市は伊澤町。

●女按摩の妾周旋

▽支度金を着服す

新町一丁目居住の按摩業永井ちか(四三)と云ふは支那町居住の清商劉貫一(三八)と云へる者の兄が妾なる鈴木なを(二三)より右貫一の妾として日本美人の周旋方を頼まれしかば直に女結髪の海野そのと云ふに選擇を依賴したるに宮町三丁目松羅亭の酌婦山口縣生れの仲野きん(二〇)と云ふ以前は黄海道長淵郵便所員を奉職し居りたる墮落女が体格と云ひ容貌と云ひ支那人向きなるにぞ同人は口から出任せの甘い話を爲し支那人の妾とならばれ金は貯へ次第と欺きて承諾させ此仔細をちかに復命したる處ちかは手を打ちて歡び直樣其旨劉一に傳へて双方の見合ひも終り愈々入り込む事に交渉纒りたる程に前記ちかは按摩業を營むの傍ら斯かる惡業に從事せる鬼にも優る婆なるより之れを餌に良き儲事を爲さんと貫一に向ひ仲介人なる結髪なをに對する謝禮として五圓及びきんの前借金は僅かに三圓八十錢なるにも拘はらず四十圓なりと詐りて其內二十圓を去る廿二日騙取し何喰はぬ顔に打過ぎ居りたるを仁川署刑事に探知され一昨日右ちかは其筋に引致され檢事局に廻はされたり

●仁川の船火事

仁川花房町二丁目江口喜太郎所有の團平船は花房町一丁目海岸に繋留中一昨日午前二時頃船內より發火し積載せる糠百五十俵に燃へ移りて一時火の手揚りたるが此報に接し仁川署より警官は當直消防夫七名を引連れて現場に急行し消防に努めし結果同四時團平船全部を燒失して鎮火したり損害額は約六百五十圓の見込にて尚其源因は目下取調中なりと云ふ

●韓人のコソ泥

南部長洞住某車樂金昌根(二二)と云ふ韓人は一月二日午前十時頃旭町一丁目法務院第一號官舍鈴木信太郎方裏口に置きありたる編上靴一足を窃取せるを始めとし同月中旬には午後七時頃旭町二丁目遠藤朝二郎方玄關先きに置きありし短靴を二月十二日には再び前記鈴木方にて短靴一足を三月十三日には南山町一丁目加藤忠雄所有の空屋內に置きありし疊一枚等を窃取せる事露顯此のほど逮捕取調中なりしが一昨廿八日檢事局へ送らる

●黒山羊の迷子

仁川桃山町居住の片川文吉と云ふは數日前歌舞伎座伊東劇を觀ての歸るさ京町二丁目道路に於て後方より黒毛の山羊一疋尾行し來りたれば之れを追ひたるに逍ぐる模様もなきにぞ一先つ拾得して花町派出所に屆出でたるが心當りの飼主は仁川署に屆出らるべしとなり

●走る處を待て

京畿道生れ朴聖元(六七)と云ふ韓人は去る廿四日午後九時頃明治町一丁目の勸商場にて本町四丁目唐虎店出品に係る護謨靴を窃取逃走せんとする處を引つ捉へられ一昨日檢事局送り

……多少の效果を一は豫定外の土面苗圃に迄り消毒を申出

●斃牛一四

一昨廿八日午前八時頃西部管內阿峴北洞にて斃病あり診定の結果炭疽病に罹りしものと分り消毒

●迷兒

一昨廿八日午後二時頃韓國銀行建築所附近を三歳位の童兒彷徨し居るを交番の巡査保護中右は旭町一丁目大工中岡熊太郎長男好美(三つ)なる事判明引渡さる

目と耳

▲壽座 先日僅々十日間の開演に好評を博し以來休演中の佐々木一郎一行は本日より再び開演なす事となり狂言は昨年當地の一問題として世評の高かりし刑事殺しを其當時の嫌疑者の一人たる津城大八より其事實を親しく聞き取り之を脚色なしたるものにて津城大八本人も毎夜登場其當時の事柄を陳ぶるよし其場割は左の如し

場割

(一)久留米市東雲亭座敷(二)同市水天宮社內津城決心(三)津城親子訣別の場(四)對州の宿屋(五)同家座敷の渡韓決心(六)津城大八馬賊隊生活(七)雜貨店に清人の強盗(八)京城市中の大評判(九)西小門外の刑事殺し(十)津城大八嫌疑の捕縛(十一)警察署の訊問(十二)留置所に無實の電報(十三)訊問所に無實の自白(十四)夫の無事を妻女の祈願(十五)公判廷に無罪の言渡し

▲京城座 同座本晩の替り狂言は「二人新兵」の通し其の配役は新兵(今井)同(花井)書記山形(千葉)判士長山川始(川崎)れ袖(金澤)仲居たよし(桂木)みち子(田中)上等兵齋川二郎(高山)二等卒荒川芳五郎(高島)一等卒村上五郎(上田)兵士都野一(潮)陸軍大尉輕澤忠輝(浮田)馬丁八藏(眞部)代言人中村五郎(秋岡)仲居たてる(三好)軍曹臼井六郎(美崎)秋津守(瀨川)

▲龍山座 當地壽座に於て大好評を博したる喜劇曾我の家一座は廿九日より龍山龍山座に於て開演したるが其の飄逸洒脱の妙技は當地に於けるよりも以上に歡迎せられつゝあり今三十日即ち二日目の藝題は左の如し

第一番目御祝儀寶之入船 一場
第二番目意外の折箱 三場
第三番目ラブ 三場
第四番目寶の拍手
大切二人袴引拔き松の名所

●諸國盆踊唱歌評(一)

▽昔流行の唱歌でムる
▽花も實もある優しさ

山城の部

神に千歳のたねをまつ
れやてつまでも田を植わしまひ

頭取「農を本とする瑞穂の國正直なる民の心を優しう唄ふたもので氣がノンビリさしますね 贔屓「素朴なる昔時田園の和樂狀態を移し得て妙であるが併し『植わしまひ』の句聊か苦しき様思はる 通「歌らつし、此れで結構でげす主なさア法界節の評でもさつし 李「アーン昔は人間が穩當でやんしたよ下手公事を繰つて恥を曝すも馬鹿の中でのし。

わしは小池の鯉鮒なれど
なまづ男はいやでそろ

通「面白ふげすナ面白ふげすナオホン 贔屓「是れに由つて之れを觀るど今も昔も人情に左したる變りは無かつたものと云ふを得べしである李さん何うでやんすだ 李「……… 眼口「なまづ女もいやでそろだ 頭取「東西アイツれ靜かに願ひまして次に移ります

在韓水戶人士に告ぐ

水戶浪士が憂國の餘り櫻田の快擧を敢て爲したるは今より半世紀前なり、爾後大義名分明かとなり政權朝廷に歸り國運隆々以て今日に至る、朝廷曩に浪士に贈位の恩典を賜ふ死して餘榮ありと云ふべし、今や外交多端世人動もすれば軟風に襲はれんとするの時に當つて東京やまと新聞社主催となり來る四月十日を期し九段招魂社に於て浪士の爲に五十年祭典を擧行せんとす、蓋し吾人の意を得たるものと云ふべし、依て思ふに在韓水戶人士は浪士と鄕を同ふする者該祭典に與かるの特權を有す故に本社は此際水戶出身の諸氏に寄附金を請ひ之を一括してやまと新聞社に贈り祭典費の一部に加へんとす幸に御賛成あらんことを希望す、

寄附金申込期日 **四月三日限り**

申込所 **京城新報社**

▲平民文庫▼

▲池田病院の眼鏡かけの高襟書生さんは患者に對して親切である斯く書生はありたき者である(女親患者)▲西小門通り大韓日報社の前の空地へ何處よりとも知らんが馬糞を盛んに運搬散布して居る肥料とするのであらうが体裁頗る宜敷ない(通行人)▲客臘馬山浦より當地に逃げ込んだ平森某と云ふ四十男は錏一文もない癖に女郎買ひなんぞと洒落る爲めに何日も女房のれ何とゴタゴタして居る馬山でも借りられる丈け借りて夜逃げをしたのだ今度當地で借金が出來たら何所へ逃げる積りなのかしら兎に角諸君御要心〱(松園迦生)▲朝鮮新聞社の汽車博覽會大に歡迎す四月十六日が待遠です(待遠生)▲韓國銀行開城出張所の閉鎖公告を馬山區裁判所の名でせられて居るがチト可笑しく思はれますが(何度生)▲北米倉町の岡の家も遂々落城した全体警視廳の賭方を眞面目に行つて居れば宜かつたのだよ(追知生)▲僕は先日第二小學校の卒業式に學童の保護者として列席した際校長殿の訓示的演說の余りに冗長なのを遺憾と感じた夫れは尋常科の一二年生も居るのにクド〱と有り觸れた事を一時間の餘も述べ立てられた事である▲學生は勉强せなければならぬことや親に孝行しなければならぬことや友達同士仲善くせんければならぬことやは平常教訓せられてある事で卒業式の如き儀式を主とする席上で今更らしき倫理の講話は無用であらう▲其の證據には句切れ目毎に小さき唇より洩るゝアーアッと云ふ嘆聲が合して大なる音響となり講堂の空氣を震撼さした事實に見るべしである▲發育旺盛なる兒童は喫驗よりも靜座を厭ふものである演劇の如き活動寫眞の如き面白きものでも同一の場面では一時間と繼續しては少々嫌氣を催すものである夫れに況んや恬淡無味蠟を咬むが如き漢語交りの訓話をサア食へ〱は体の宜い幼兒虐待である▲列席の父兄母姉への御馳走は別室で致されたい、とは決して僕一人の注文ではあるまいと思ふ(一風聞子)▲中學校の試驗成績は未だ判りませんか(一親父)▲發表はされた相ですが一般に發表の手續を取られない爲め知れないのです學校にれ問合せなさい(係)

今日の運勢

三月卅日舊二月十九日七赤 友引甲午平△一白 不意の障礙起り易し旅行入學門婚姻職業には好良△二黑 家庭內に些少の煩累起らん誘惑防ぐべし△三碧 交際上に衝突起り取引上に間違起らん建築伐木には吉△四綠 盜難横領防ぐべし爭論及親しき間に禮を紊す勿れ△五黄 貸借保證事に忌む日なり遺失防ぐべし△六白 商賈は收利の日なるも其他否らず旅行轉作轉業に吉△七赤 新事見合の事相談々判依賴請願訴訟等不利に歸す△八白 親疎の者より損害を受け易し兒女の事を謀るに吉△九紫 沈衰の日新事凶色情詐術謀計の難防ぐべし(本町五丁目三一館判斷)

京城居留民團公文

京城居留民團告諭第一號

居留民團稅其他ノ公課納入ニ關シテハ民團法實施以前ニ於ケル舊慣ニ因リ便宜上特ニ吏員ヲ派シ取立ニ從事セシメ來レルモ右ハ正當ノ手續ニアラサルノミナラス往々不測ノ弊害ヲ譲スノ嫌アルヲ以テ來ル四月一日ヨリ全然吏員ノ取立ヲ廢止スルト同時ニ滯納者ニ對シテハ直ニ督促ヲ爲シ尚ホ指定ノ期限內ニ納付セサル者ニハ滯納處分執行ノ不得已ニ至ルベキヲ以テ自今納稅告知書ノ交付ヲ受ケタルトキハ直接會計役ニ納付シ必ス納期ヲ愆マラサル樣特ニ留意セラルベシ

明治四十三年三月二十九日
京城居留民團民長 古城菅堂

●天氣豫報(自廿九日午後六時至三十日午後六時)
南、西の風晴後曇
廿八日(華氏) 最高温度 五一、八 最低温度 三五、一

實業半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度 三十四歲貨物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解す會社又は商店諸官衙を望む 氏名在社（一〇）

●農園野菜類 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

●書生採用 廿歳以下確實なる保證人ある者を求む 旭町二 提餁律事務

●店員入用 廿歳内外保證人を要す 龍山元町三丁目 日韓組業店

●女雇入 家事手傳及女中入用給料普通以上望に依り勤務時限を與ふ朝九時迄後五時、來談あれ永樂町二の九二伊藤

物件部

●貸家 平家一戸疊間數四間及長家一戸間數三間場所南大門外吉野町

●荒蕪平家 建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ

●電話買入（姓名在社）

●ポインター犬牡一頭歸國に付格安讓る 姓名在社

廣告

京界に於ける弊店の特色に有之候 材料の最高と技倆の熟練は割烹並に歌舞伎辨當 松齋流割烹

京城南山町一丁目 そは孫（電話一五〇二番）

出前の儀は電話又は一報次第即刻持参可仕候

最新療治 マッサージ治療（並に產婆開業）
◎主治概要 腦神經諸病、胃腸諸病、神經痛、關節病、婦人科諸病、うちみ、くぢき、りようまちす其他醫藥効なき頑固痼疾を治療す
京城太平町二丁目大漢門通光化門寄 長淵軍醫監東京仁壽病院マッサージ部
京城出張所 助産の需に應ず 產婆荒川元子

御料理席貸 和樂園 高田家（電話九三七番）米倉町
○料理は萬事御手輕にして高尚
○園内は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

京城鐘路の喰物は何んたろー！
裁判所前の洋食店 鐘路軒の
松茸めしさ
酒一本外和洋料理五品付 一人前六十錢
價が安くて うまくて はらこたまるよ
皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる
極く便利ですよ
電話壹四二九番 客用有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎



紙と印刷
諸紙 諸官衙御用
和洋帳簿の出來
印刷
各種製本
ハリモト 播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

移轉廣告
今般擴張の爲左の處に移轉尚一層大勉強致候間多少に不拘御用仰付被下度願上候
龍山榮町元井商跡
履物商 遠山商店

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番
明治町勧商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町二丁目郵便局前 鐵冷温泉 電話千四百十一番

本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依賴し各科の診療に從事す入院の需めに應す
外科花柳病科 診察時間午前九時より正午に至る 前漢城病院長ドクトルメヂチーネ 和田八千穗
内科小兒科 自午前九時至正午 前仁川病院長醫學士 松村三省
眼科内科 自午後一時至四時 東京醫科大學選科卒業 院主 瀧澤喜太郎
耳鼻咽喉科 自午後一時至四時（但し毎月四回一日五日十五日廿五日）醫術開業士 赤羽學
婦人科 同自午後一時至四時 醫學得業士 天ケ瀬健六
龍山榮町（文平山麓）
龍山居留民團囑托 龍山醫院 院主 瀧澤喜太郎

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒビール サッポロビール 精白米
右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 卸問屋 西崎嘉七本店
電話二一〇 電署（二カ） 振替貯金口座韓七番

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋畵舖
防腐デシン
穀物食鹽
諸顏料類
諸官衙御用品調達
委託販賣
東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
大日本麥酒會社食鹽特約
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 京橋新肴町 電話新橋二十三九六二番

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯
ものし、しみぬき、かけつぎ
京染悉皆取扱
葉書にて御一報被下候へば早速店員罷出精々御便宜に御取扱可申候
京城古市町
主任 島田嘉吉
京屋

韓國金屬商元祖
和洋金物商 藤釘本 藤次郎 本店
舶來品は直輸入
日本製品は産地特約
京城本町五丁目
新案特許品數種着荷
破天荒の大勉強
長電話四五番 電信略號（ク） 振替貯金口座第一三四二二番

大 〈マル〉 （商標）
特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
自製和洋酒、醋酸、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米穀、鰹節、鹽辛、日本食糧、冬期特約販賣
御用命の節は御葉書に依り商品切手調進仕候

廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依賴に應ず
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴訟事件
右迅速確實に依賴者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戸
堤重四郎法律事務所

京城南山町（元日本人倶樂部事）
京城ホテル
長電話一二三番 電話四九二番

明治廿年七月創立 京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓 事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

めし道樂 開業 御披露
松たけめし 一人前三十錢
あなご めし
竹の子めし たなしく
鷄 ゑんどうめし だなじく
なくて七癖と申しますから隨分色々の道樂もありますが就中めし道樂ほど、よい道樂はございません、此道樂を發揮せん爲め、わざ〳〵大阪表からわり烹の美人を呼びよせ釜のまゝ御座敷の眞中に持運び御客樣の御嗜好に任せ按排加減と程好くして差上ます何卒御賞味かた〳〵御來遊の程御願申上ます
尚多少によらず出前も御便利に迅速に御届け仕りますから御用命の程
大和町三丁目 梅の家眞向ひ
明月
電話七一五五

熟誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セズ）
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮（電話三一九八番）

資本金一千萬圓
積立金五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一二番
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下関、新大阪町（東京）、兵庫、伏見、西京、大阪、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

神戸養生分院 京城梅毒病院
京城相生町（南門通横）
◎花柳病専門並、痔（注射療法）
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平
（電話一二九四）

辯護士
特許辯理士
京城明治町二丁目（佛國教會前）
岩田仙宗
電話三五四番

消毒
蒸氣
牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一二三

京城
株式會社 十八銀行 京城支店
京城南大門通
資本金參百萬圓
積立及繰越金九拾五萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

韓國 日本
本店 長崎
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、馬山 出張所 大阪、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店 十八銀行京城支店

特許所用 大韓醫院御用 消毒 新鮮 牛乳 荒井牧場 電話一〇五六番

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

★株式會社 第百三十銀行 京城支店
京城本町二丁目十五番地 電話五八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、兵庫、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 大津、長濱、彦根、草津、八幡、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、前橋、敦賀、福井、能代、七尾、高岡、金澤、酒田
北陸道 福井、敦賀、高田、伏木、新潟、直江津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、三田尻、下関、萩、德山、小郡、長府、舞子
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、群州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候